

令和6年度 衣川中学校 学校経営方針

1 校 訓 自律 ・ 連帯 ・ 創意 ・ 責任

2 教育目標 「正しく・明るく・強く」

- 正しく判断する力を養い、真理を追求する生徒の育成。
- 支え合いの精神を培い、明るく社会性のある生徒の育成。
- 強い体と豊かな心を育み、実行力と責任感のある生徒の育成。

3 教育スローガン ～みんなでみんなを～

- 美しさのわかる人になろう。
- 人権と生命を大切にする人になろう。
- 自分の頭で考える人になろう。

4 めざす学校像

- 美しい学校
- 人権と生命が保障される学校
- 学びたくなる学校

5 めざす生徒像

- 自律する生徒
 - ・ 自分の意見や考えを持ち、正しい判断の下で、主体的に行動できる生徒。
- 連帯する生徒
 - ・ 「多様性」「共感」「思いやり」を大切にし、互いに協力し合って、よりよい学校生活の実現を目指すことができる生徒。
- 創意のある生徒
 - ・ 新たな発想で物事を考え、様々な可能性を見いだせる生徒。
- 責任の持てる生徒
 - ・ 自分のやるべきことに責任を持ち、最後まで諦めず頑張りぬく生徒。

6 めざす教職員像

- 人間性豊かな教職員
- 生徒・保護者・地域に信頼される教職員
- 生徒を主語にして考える教職員
- 情熱のある教職員

・ 人権感覚、規範意識、生徒に対する愛情、教育の専門家としての力量（授業力）、責任感、使命感、生徒理解力、コミュニケーション能力などが備わっている教職員。

7 本年度の重点目標

- 命と人権を大切にした安全・安心な教育環境の構築。
- 生きる力を支える確かな学力の育成。
- 特別支援教育の視点に立った生徒理解と支援の充実。
- 自発的・自治的な生徒会活動の推進。

8 具現化するための主な手立て

(1) 学習面「知」の観点から

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究。
- ② 個に応じた指導の工夫と ICT 機器（タブレット等）を有効活用した授業実践。
- ③ 特別支援教育の更なる充実と、ユニバーサルデザインの視点に立った授業研究。
- ④ リタリコを積極的に活用した個別の指導計画の作成と支援の充実。

(2) 心の教育「徳」の観点から

- ① 「考え、議論する」道徳授業の工夫と改善。
- ② 人権感覚の育成を図る取組（多様性・共感・思いやりの心を育む取組）の推進と規範意識（自律心と責任感）の醸成を図るための取組の推進。
※授業や行事、講習会等（人権、LGBTQ+、マナー、SNS等）。
- ③ 生徒1人ひとりの個性（特性）を尊重した生徒指導の実践。
- ④ 生徒の居場所づくり（教職員主導）と絆づくり（生徒主体）を意識した場の設定。
- ⑤ キャリア教育の工夫と改善。（体験学習、生き方学習、進路学習等）
- ⑥ あいさつ運動などの生徒会活動の推進。

(3) 健康「体」の観点から

- ① 自ら、体力・運動能力の向上を図ろうとする取組の推進。
- ② ジェンダー教育、性教育を通じた健やかな体の育成。
- ③ 食育の推進とアレルギー疾患への適切な対応。
- ④ 生徒会の自主的な取組を尊重した体育的行事の充実。
- ⑤ 生徒の自主性を尊重した部活動運営。
- ⑥ 業務の効率化と勤務時間の適正化の推進、並びに、ワークライフバランスの充実。

(4) 環境「安全・安心」の観点から

- ① 生徒1人1人が安心して学べる教育環境の充実。
 - ・ 多様性を認め合う温かい学級づくり。
 - ・ 校内支援教室「なぎさ教室」や通級指導教室の環境整備及び有効活用。
 - ・ 市教育支援教室「もくせい教室」やあかしフリースペース「トロッコ」、フリースクール等の民間施設、ICT等などの有効活用。
- ② 事故未然防止のための生徒の見守り活動（登校指導、校内巡回等）の継続。
- ③ 教育相談体制の充実。
 - ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家の有効活用。
 - ・ 教育委員会や関係機関等（こどもセンター、発達支援センター、清水が丘学園、明石警察等）との連携。
- ④ 自ら判断して行動し、安全を確保できる意識を高める防災教育の実施。
- ⑤ 安全・安心な給食を実施するための取組の推進。（食物アレルギー対策研修等）

(5) 連携「学校・家庭・地域」の観点から

- ① 学年通信や学校HP等を活用した情報発信。
- ② 学校運営協議会の更なる活性化。
- ③ 校区ユニット会議の推進。
- ④ 8校園所長会での情報共有。
- ⑤ 地域行事への参画。